

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20T7
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 機能材料
研究開発課題名	: ゲージ率 1000 を超える超高感度フィルム型ひずみゲージの開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 千葉 大地(大阪大学)

評価結果の総合所見

本課題は、スピノ力学センサを搭載した製品を実現し、力学センサ市場のゲームチェンジの実現に向けスピノロニクス素子を用いた超高感度なひずみゲージの開発を目指すものである。特に優れた成果が得られ、企業との共同研究も進んでおり、イノベーション創出が大いに期待できる。当初の提案の目標値は全てクリアするだけでなく、消費電力や耐性では目標値を大幅にしのいだ達成値を得ており、高く評価できる。特許に関して、複数の国内出願や PCT 出願が行われている点も評価できる。以上より、当初の期待通り以上の目標が達成され、技術課題等が解決できたと評価される。

以上